

子孫が記した「渋沢精神」

巨人・渋沢栄一の「富を築く100の教え」

渋澤 健著

《信用は実に資本であって
商売繁栄の根底である》（渋
沢栄一訓言集）。本書の「信
用すなわち資本と思え」の項
に記されている言葉だ。

『論語』を重視し「経済道
徳合一説」を説いた財界の巨

頭・渋沢栄一について、経営
学者のドラッカーは「世界の
誰よりも早く、経営の本質は
『責任』に他ならないという
ことを見抜いていた」とも紹
介している。

のくえ
の100の教
富を築く
栄一・渋沢
巨人

Walk the Path for Lifelong Wealth and Well-being
渋澤 健著



社会の規範を築きたいとい

う思いが高まっている
中国では「渋沢栄一の
『論語と算盤』に関心
が集まり」、昨年武漢
・華中師範大学に「渋
沢栄一研究センター」
ができた。

本書はこうした渋沢

精神の世界的再評価を受けて
「今後の日本社会と日本人が
豊かに、幸せになるために、
明治の実業家がどんなヒント
を残してくれたのかを考える
目的」で、渋沢翁の神髓を1
00の語録として読みやすく
まとめた解説書である。

名前が示す通り、著者は
「日本資本主義の父」といわ
れる渋沢栄一の5代目の子
孫。今は投資コンサルティン
グ会社を興し、渋沢栄一記念
財団理事を務める気鋭の経営
者でもある。